



# 動物医療費のご支援についてのご報告とお礼

～令和3年11月～

**8名の方より総額4万1,000円のご支援を頂きました。**

**動物医療費にたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。**

↓医薬材料費(※1)の合計と、ご支援を活用して購入させていただいたものの一部をご報告します。

	医薬材料費(税込)	購入品の例
令和3年11月	合計404,098円	ポニーたちの病気予防のための3種混合ワクチン エミューの外傷の縫合時に使用した麻酔薬 カンガルーの頬の膿瘍の治療に使用した皮膚潰瘍治療剤、消炎鎮痛剤、抗生剤 牛の“うーたん”の関節炎治療の注射薬とグルコサミン 他、血液検査消耗品、貧血の薬、消毒薬、サプリメントなど

↓検査委託費(※2)の合計と、ご支援を活用して行った検査の一部をご報告します。

	検査委託費(税込)	検査の例
令和3年11月	合計 35,156円	ライオン“キング”、アフリカゾウ“マオ”、ヤギの“ゆい”“とと”、タヌキ“タヌヨシ”“コタロウ”、グレビーシマウマ“ラガー”など、14件の血液検査、ポニーたちの健康診断、カモシカ“くらら”の尿検査、シタツンガ“ツンタ”、オオツノヒツジ“ラビィ”の細菌培養検査、ヤマネの指の腫瘍の病理組織検査

※ 上記のほか、多くの動物たちの検査・治療と病気の予防のためにご支援を使わせていただきました。

盛岡市動物公園 ZOOMO では、これまで以上に動物たちの健康診断を行うなど、病気の早期発見と予防に力を入れています。また、岩手大学など高度医療を行う専門機関のご協力も得ながら、診断のための検査や治療等についても積極的に行うことで、動物たちの医療環境の向上を目指しています。動物たちの検査や治療にはお金がかかりますが、当園の場合、動物たちに十分な治療と検査を行うためには、年間で動物医療費【医薬材料費(※1)が約240万円、検査委託費が約60万円(※2)】が必要です。しかし、現状では年間約100万円の医療費が不足しています。

そこで、令和2年9月末より、HPやSNSで動物医療費のご支援をお願いしたところ、目標の100万円を越えるたくさんのご支援をいただきました。動物医療費が充実したことで、これまで以上に治療の選択肢が広がったことを実感しており、ご支援くださったみなさまには改めて感謝申し上げます。今後もみなさまからのご支援は動物たちの医療のために使わせていただきます。さらなる医療環境の向上のため、引き続きご支援をお願い申し上げます。

(※1)内服薬・外用薬・輸液剤・ワクチン・駆虫薬・消毒剤・サプリメント・麻酔薬・検査薬・消耗品など

(※2)血液検査・細菌検査・ウイルス検査・ホルモン検査・病理組織検査・外部検査依頼(CT・MRI・内視鏡など)

注意: 医薬材料費を使用し、一部の検査を行うこともあります。

盛岡市動物公園 ZOOMO 病院チーム  
獣医師 松原ゆき・滝本明佳・辻本恒徳